

調査の概要

1 テーマ

子どもの貧困と社会教育

2 調査概要

市町の生涯学習・社会教育における子どもの貧困対策に関する取組状況や児童生徒及び保護者の地域とのつながり、社会教育関連事業とのかかわり、必要としている支援等を把握し、子どもの貧困対策における生涯学習・社会教育の支援についての基礎資料とする。

3 調査方法

(1) 調査票 1

子どもの貧困対策につながる社会教育の取組の現状を把握するために、各市町教育委員会の生涯学習・社会教育主管課を対象としたアンケート調査を実施した。

(2) 調査票 2、3 及び学校長への聞き取り

児童生徒及びその保護者を対象としたアンケート調査では、東中南予各教育事務所の協力により、県内全体を網羅した調査となるよう、それぞれ都市部・住宅部・小集落という地域特性も考慮の上、小学校 21 校、中学校 18 校を選定し協力を依頼するとともに、児童生徒とその保護者の協力により、無記名によるアンケート調査を実施した。また、アンケート調査で、協力のあった学校のうち、6 校については、学校に対する聞き取り調査にも協力を得た。

(3) 先進・好事例の聞き取り

子どもの貧困対策につながる取組の先進・好事例については、各教育事務所にそれぞれ 2 事例の聞き取り調査協力を得た。

注 1. 児童生徒及び保護者対象のアンケート調査については、「地域の子どもを取り巻く諸問題への対応のための調査」として協力を求めた。

注 2. 個人情報保護の観点から、調査票の取り扱いや集計、報告書の記載等には万全を期した。

4 調査実施期間

(1) 調査票 1

平成 28 年 9 月 9 日～20 日

(2) 調査票 2、3 及び学校長への聞き取り

平成 28 年 9 月 14 日～10 月 4 日

(3) 先進・好事例の聞き取り

平成 28 年 10 月 6 日～10 月 21 日

5 調査対象

(1) 調査票 1

市町教育委員会(20 市町)

(2) 調査票 2

○ 調査票 2 - 1 . . . 小学校 5 年生児童 (21 校・841 名※在籍児童数)

○ 調査票 2 - 2 . . . 中学校 2 年生生徒 (18 校・864 名※在籍生徒数)

- (3) 調査票 3
 調査票 2 を実施した児童・生徒の保護者
 ○ 調査票 3-1・・・小学校 5 年生児童の保護者 (21 校・841 名※在籍児童数)
 ○ 調査票 3-2・・・中学校 2 年生生徒の保護者 (18 校・864 名※在籍生徒数)
- (4) 子どもの貧困に関する学校長への聞き取り調査
 アンケート依頼校のうち東中南予ごとに 2 校計 6 校
- (5) 先進・好事例の聞き取り調査
 東中南予ごとに各 2 事例、計 6 事例

6 回収率等

対 象	配付数※	回答数	回答率	
児童生徒	小 5 児童	841	837	99.5%
	中 2 生徒	860	837	97.3%
	合 計	1,701	1,674	98.4%
保護者	小 5 保護者	841	797	94.8%
	中 2 保護者	859	736	85.7%
	合 計	1,700	1,533	90.2%

※ 在籍生徒数と配付数の差は、欠席のため調査票未配付等による。

7 調査の集計・分析・まとめ

愛媛県社会教育委員会議における社会教育実態調査（指定テーマ調査）の方針を受け、愛媛県教育委員会事務局生涯学習課が愛媛県社会教育委員の意見を聴取し、調査票・報告書の作成を行った。なお、調査票の配布・集計・聞き取り調査では、各教育事務所社会教育課の協力を得た。また、分析に際して、愛媛大学教育学部露口健司教授の協力・助言を得た。